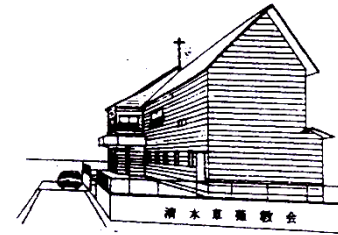


《今朝の聖書から》

人々の力は次第に増し、“初めは神が人をつくったかもしれないが、我々には大いに力があり、その力を信じようではないか”と考えるようになりました。まるで今の世界に似ていると思う人も多いでしょう。しかし、“自由がある。尽きることのない挑戦する気持ち”とあるのは、本当は“キリストに従う自由”を意味していたことを忘れてしまっていました。“東に移り、シナルの地に平野を得て(2節)”とあるように、豊かな土地にも恵まれました。“彼らは石の代りに、れんがを得、しっくい
の代りに、アスファルトを得た(3節)”とあるごとく、科学的
精神にもたけていました。しかし彼らはまだ“全地は同じ発音、
同じ言葉であった(1節)”という状況にありました。今の私
たちには想像できないことです。皆違うことを思い、ちょっと離
れれば、言葉も通じなくなるのは当たり前だと考えています。
そしてこの言葉が違うということは、人々の生活を実に不自由
なものにしていることは私たちも知っている通りです。ですから
“通訳”などという職業もあります。この言葉の違いを乗り越
え、克服しなければならぬという課題を神様はお与えにな
ったのです、この時が、この箇所描かれている出来事でした。
同じ気持ちを持ち、同じ言葉をもっていたという平板な世界に
比べ、言葉も文化も異なっているという世界は、本来なら実に
豊かなもの、と成らなければならなかったのに、人々は、実に
争いや対立の多い社会にしてしまっているのではないでしょ
うか。家の中ですら、異なる経験や異なる価値観が、本当は豊
かな者になる力にならなければならないのに、不一致の原因に
してしまっています。神様はこのような異なる地球上のすべて
の世界が一つになり、違うと いうことを乗り越えなけれ
ばならない、と教えておられるのです。またそのような力を、
本当は人々が持っていると言われるのです。地球上の、ある地
方にはこんな言葉が出来上がった、ということは科学的にもい
えるようですが、その原因は何もわかっていません。もう一度
思い出しましょう。バベルの塔の出来事は、おごり高ぶった
人々に対する、神の誠めと普通は捉えてしまいましたが、この壁
を乗り越えていかなければならぬという、治める者に対する
課題と、その豊かさをも人々に与えられたのです。

週報

2008年 11月 30日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

| | | |
|---------|---|----------|
| 教会学校 | 毎日曜日 | 午前 9:00 |
| 礼拝式 | 毎日曜日 | 午前 10:30 |
| | (聖餐式 第一日曜日) | |
| 夕礼拝式 | 毎日曜日 | 午後 7:00 |
| エステル会の会 | 毎水曜日 | 午前 10:30 |
| 聖書研究祈祷会 | 毎水曜日 | 午後 7:00 |
| ホームページ | http://kusanagi.church.jp/ | |

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp